

*DPoE*<sup>TM</sup> 電源システム

ユーザマニュアル

第3版

2010年12月

©2010 PANDUIT Corp.(パンドウイトコーポレーション)

無断複写・転載を禁じます。

[www.panduit.co.jp](http://www.panduit.co.jp)

## 安全上の注意

DPoE™ パワーパッチパネル電源システムは、アクセス制限のある場所でのみ使用してください。表面がコンクリート製、または、他の不燃性の場所への設置に適しています。

本製品の設置、動作、およびメンテナンスの際には、必ず標準安全注意事項を遵守してください。どのような作業をする場合でも、取扱説明書を事前にご覧ください。調整、メンテナンス、または修理については危険性への知識を有した技術者のみが行うようにしてください。落雷の時は、システムの作業、あるいはケーブルの接続または切断を行わないでください。本製品の最終的な処分は、国内法および規則のすべてに従って行ってください。

<b>警告</b>	本製品には、感電や火傷の原因となる電圧および電力が流れているため、作業者は十分な注意が必要です。
-----------	--

<b>注意</b>	交流電源(AC)への接続で使用するコードのプラグの端部は、主に切断のために使用するの、プラグおよびコンセント部分の取り扱いは適切に行ってください。 コンセントには、本ガイドの説明に従ってブレーカーまたはヒューズを取り付けてください。
-----------	---

<b>注意</b>	すべての整流器に内部二極型/ニュートラルのヒューズが使用されています。
-----------	-------------------------------------

## FCC 規格との適合

本装置は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作をする場合には、以下の2つの条件に満たすようにしてください。

1. 本装置から有害な障害が発生してはいけません。
2. 本装置は、意図に反する動作を引き起こすような障害が発生した場合でも、それに耐えられる性能が必要です。

<b>警告</b>	本装置を、規則遵守に責任のある団体から明確な承認を受けずに、変更または改造すると、本装置の使用許可が取消される場合があります。
-----------	---

## 製品の保証内容

本ガイドに記載されている全製品は、特別に定められていない限り、パンドウイトから最初の購入者に発行された納品書の日付から1年間、材質および仕上りの不具合が保証されます。慎重に判断した上で不具合があると判明した製品については、保証期間中に限り弊社が修理、または、交換します。保証によるサービス、または修理を受ける場合、不具合がある製品は弊社が指定するサービス施設へ返却してください。送料については、購入者が弊社に全額を前払いしてください。製品に不具合があると判断された場合、購入者に製品を返送すると共に送料をお支払いします。

ただし、外国から返却される製品の送料、関税、税金については購入者の全額負担となります。弊社が設計した装置と共用するファームウェアを機器に適切にインストールした場合に限り、その機能を発揮することを保証します。ただし、機器またはファームウェアの動作中に障害やエラーが発生しないことまでは保証の対象とはなりません。

購入者の不適切、または、不十分なメンテナンスから生じた問題については、上記の保証の対象とはなりません。購入者が用意したファームウェア、インターフェース、認められていない改造、誤用、製品仕様以外の環境での操作、現場での準備不足、メンテナンスについては、保証の対象とはなりません。上記以外の内容については、明示的、または暗示的にも保証の対象とは一切なりません。商品適格性、および特定な用途での適合性の暗示的な保証については、弊社の保証の対象とは一切なりません。

本ガイドで扱っている改善措置は、購入者のための唯一の補償です。契約、不法行為、または他の法的理論に基づいているかどうかにかかわらず、いかなる直接、間接、特別、偶発的、もしくは必然的な損傷について弊社は責任を負いません。

パンドウイト社により特に指定されていない限り、権限のない人員が本製品を開封した場合にはこの保証の対象とはなりません。

## 商標

DPoE™および Contour Crimp は、弊社の商標です。他のすべての商標は、それらの個々の所有者に属します。

## 目次

安全上の注意	i
FCC 規格との適合	i
製品の保証内容	i
概要	1
設置	2
梱包品目	2
熱放散	3
AC 入力配線	3
DC 出力配線の寸法	4
DPoE パワーパッチパネル・コンパクト 8 ミッドスパンへの接続	5
必要な工具	6
現場と装置の準備	6
電源装置の取付けおよび配線	7
機器の取付け	7
棚板への搭載(オプション)	7
AC 入力	8
DC 出力	9
最終テストおよび作動	11
整流器	11
起動	11
短絡および電流制限	11
トラブルシューティング	12

## 図

図 1 シャーシ(整流器 3 台を搭載時)	1
図 2 単一 AC 給電の配線系統図	3
図 3 DC 配線図	4
図 4 DPoE™ パッチパネル・コンパクト 8 ミッドスパンへの接続	5
図 5 シャーシ(正面図)	7
図 6 ラック搭載用棚板(オプション)	7
図 7 コードブラケット	8
図 8 シャーシ(背面図)- AC 接続	8
図 9 コードブラケットをシャーシに固定	8
図 10 シャーシ(正面図)GMT ヒューズホルダー	9
図 11 GMT 7.5A DC 電源ヒューズ	9
図 12 シャーシ(背面図) DC 接続	9
図 13 整流器の設置または取り外し	11

## 表のリスト

表 1 梱包品目	2
表 2 PANDUIT の DPoE™ 電源装置	2
表 3 熱放散	3
表 4 推奨 AC ブレーカーおよびワイヤーの寸法	4
表 5 保護されていない出力用 90° C ケーブル布線の推奨最少 DC AWG	5
表 6 推奨締めつけトルク設定	6
表 7 パンドウイトの問い合わせ先	6
表 8 トラブルシューティング	12

## 概要

DPoE™ パワーパッチパネルおよびDPoE™コンパクト8ミッドスパンは、IEEE 802.3af-2003 仕様、または他のPoE (Cisco Legacy) 仕様に準拠したPoEのアプリケーションに、信頼性と費用効果の高いソリューションを提供します。各DPoE™パワーパッチパネルでは、IP(インターネットプロトコルベース)電話、ネットワークセキュリティカメラ、または、ワイヤレスアクセスポイントといった装置に、イーサネット接続用のケーブルを利用した集中給電ができます。各DPoE™パワーパッチパネルは、19インチのラックに収まる大きさで、1RUの高さがあります。

DPoE™パワーパッチパネルには、単一DPoE™パワーパッチパネルやDPoE™コンパクト8ミッドスパンに直流48ボルト(VDC)で120ワットを供給する弊社のDPoE™パワーサプライ(型番DPOEPWRB120Y)を用いて、電力を供給します。ただし、パネルやミッドスパンに接続されている電動装置(PD)のすべてを動作させる場合、120ワットでは十分でない場合もあります。このような場合やDPoE™PoEシステムが複数ある場合には、さらに大容量の電源システムが必要となる場合が多くなります。対策の1つとしてDPoE™シャーシおよび整流器を用いるDPoE™パワーシステムがあります。

DPoE™パワーシステムでは、複数のDPoE™PoEシステムに48VDCの電力を供給するモジュラデザインを使用します。DPoE™パワーシステムは、シャーシ(型番DPOEPWRCU)で構成されており、DPoE™PoEシステムの現在および将来の必要性に応じて、最大3台までの整流器(500ワットまたは1250ワットのいずれか)に対応しています。

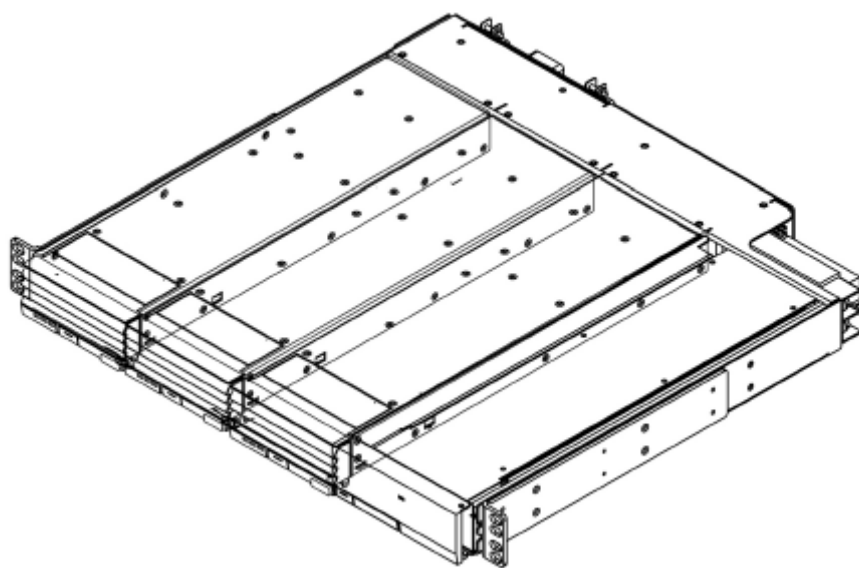


図 1 シャーシ(整流器 3 台を搭載時)

DPoE™パワーシステムは、100VACから240VAC(47Hzから63Hz)の交流電圧(VAC)に対応しており、使用時の温度範囲は-40°Cから+70°Cの範囲で、最大直流(DC)10アンペア(A)を供給し、安定的な42 - 56 VDC出力を行います。

## 設置

**注意** すべての地域および国の電気、環境、職場の規約を遵守してください。

各シャーシには、TNまたはIT電力システム専用のAC分岐回路から電力を供給してください。

**注意** AC接続に使用する電源コードのプラグの端部は、主に切断に使用します。プラグおよびコンセント部分は、適切に扱ってください。コンセントには、表 4(推奨AC回路ブレーカーおよびワイヤーの寸法)に準拠したブレーカー、またはヒューズを取り付けてください。

DCバルク接続には、ラグの回転や他の回路との接触を防止するため、単一孔およびUL認証のラグを使用してください。ターミナルストリップ接続には、圧縮ネジを使用します。

すべてのDC接続については、クラス1のワイヤーを推奨します。保護された回路および保護されていない回路のワイヤーの最少寸法は、表5(保護されない出力用90℃ケーブル布線で推奨される各最少DC AWG)にある通りです。実際には、ループ電圧の低下を考慮し、通常は安全ワイヤーの最少寸法より大きな寸法にします。接続および取り付けに必要な締めつけトルクについては、表6(推奨締めつけトルク設定)を参照してください。整流器を搭載した状態でのシャーシの出荷については、弊社では推奨しておりません。整流器は、それぞれ別の箱に入れて発送しています。

## 梱包品目

DPoE™パワーシステムのシャーシ(型番DPOEPWRCU)は、以下の品目が同梱されています。

表 1 梱包品目

品目	数量	注記
DPoE™パワーシステム ユーザーガイド	1	本ガイド
コードブラケット	3	各々の電源コードを、DPoE™パワーシステムのシャーシ背面に固定します。
一体式ワッシャー付きネジ	4	DPoE™パワーシステムシャーシを19インチのラックへ固定します。
ナット	2	DPoE™パワーシステムのシャーシ背面にあるDCバルク接続にラグを固定します。
一体式ワッシャー付きネジ	6	DPoE™パワーシステムのシャーシの背面にコードブラケットを固定する#4から#40のネジです。
GMTヒューズ	20	5ampヒューズ(4個) および7.5ampヒューズ(16個)

表 2 PANDUIT の DPoE™電源装置

型番	説明
DPOEPWRB120Y	単一電源 - 120ワット電源 - 48ボルト出力
DPOEPWRCU	非管理電源シャーシ - 最大3台までの整流器搭載に対応
DPOEPWRR500	DPOEPWRCU(シャーシ)で使用する500ワット整流器
DPOEPWRR1250	DPOEPWRCU(シャーシ)で使用する1250ワット整流器
DPOEPWRF7.5	7.5ampヒューズ (8個入りパック)
DPOEPWRF5	5ampヒューズ(4個入りパック)
CORD-J15	日本向け電源コード

## 熱放散

次の表は、1時間あたりに各整流器から放出される熱量の最大値および一般値を英国熱量単位BTU/hr (British Thermal Units per hour)で示したものです。最大値は90VACで、一般値は230VACで計算されています。

表 3 熱放散

品番	BTU/1時間あたりの一般値	BTU/1時間あたりの最大値
DPOEPWRR500	249	410
DPOEPWRR1250	451	833

## AC 入力配線

DPoE™電力システムシャーシでは、個々のAC給電系構成(図 2 単一AC給電の配線系統図を参照)を使用しますが、整流器ごとにAC給電が必要となります。AC接続は、シャーシの背面のIEC320コンセントを使用して最大で3個まで設けられます(図8:シャーシ (背面図) - AC接続を参照)。

システムの背面の適切なコンセントに各給電を接続するには、表 2 PANDUITのDPoE™電源装置のリストに記載されている適切な電源コードを使用します。コード固定ブラケットは、シャーシにACプラグを固定するために使用します(図9:コードブラケットをシャーシに固定を参照)。

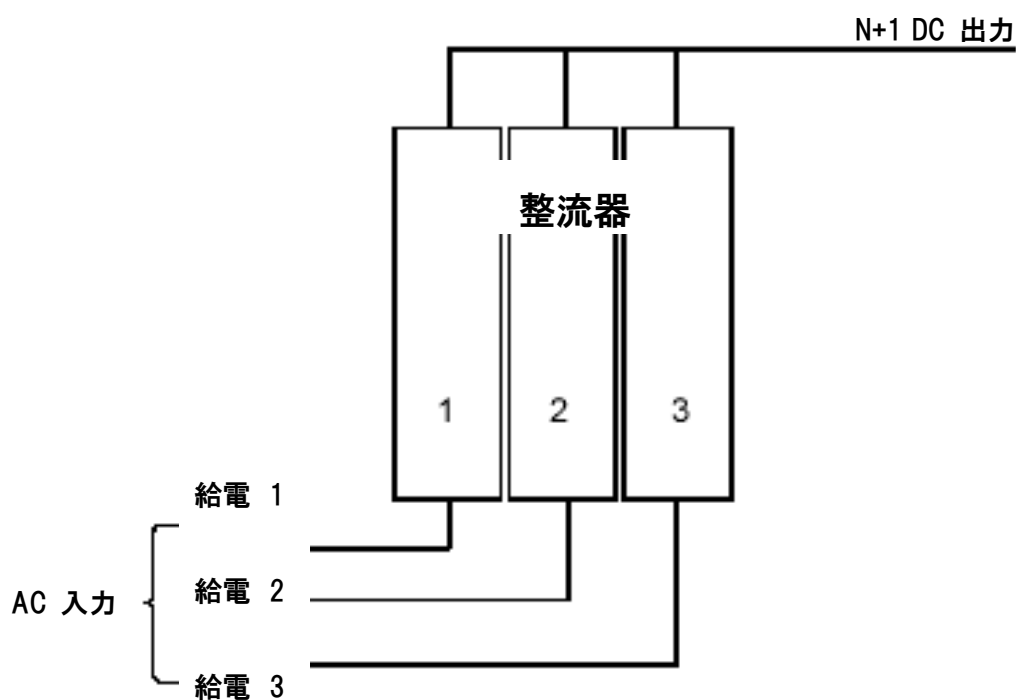


図 2 単一 AC 給電の配線系統図

各単一AC給電を保護するには、表 4 推奨ACブレーカーおよびワイヤーの寸法に記載されたブレーカーを使用します。

表 4 推奨 AC ブレーカーおよびワイヤーの寸法

給電タイプ	AC 給電の整流器の数	型番	最大入力電圧	最大定格 AC 電流 (A)	ブレーカー最小値(A)	周囲温度 30°C で使用する最大 AWG 値
各 AC 給電	1	DPOEPWRR500	90	7	15	14
		DPOEPWRR500	180	3.5	15	14
		DPOEPWRR1250	90	17.6	20	12
		DPOEPWRR1250	180	8.8	15	14

## DC 出力配線の寸法

DC ワイヤのサイジングには、主に許容電流と電圧降下の2つの検討事項があります。許容電流とは、Underwriters Laboratories (UL) や、米国電気記号体系 (NEC) を公布した the National Fire Prevention Association によって定められている安全な電流通電レベルのことです。電圧降下とは、導線のオーム抵抗による単純なワイヤー長における電圧の損失量のことです。DC ワイヤは、分岐負荷ロープ長および導線の加熱に配慮して、電気容量または電圧低下のいずれかに従って寸法が決められています。一般的なワイヤーの選択では、電気容量を考慮するとロープ長は短く(50フィート以下)になり、電圧降下を考慮するとロープ長は長く(50フィート以上)なります。

米国電気記号体系表 310.16 では、様々な寸法、束、および絶縁材温度定格のワイヤーに関する電気容量の値が規定されています。

**注意** DC 配線および保護を決定する場合、NEC ガイドラインおよび国内企業の慣行に必ず従ってください。

表 5: 保護されていない出力用の 90° 配線で推奨される最少 DC AWG は、ワイヤーの許容電流に基づいた推奨寸法を示しています。シャーシの最大電流定格は 100 A です。

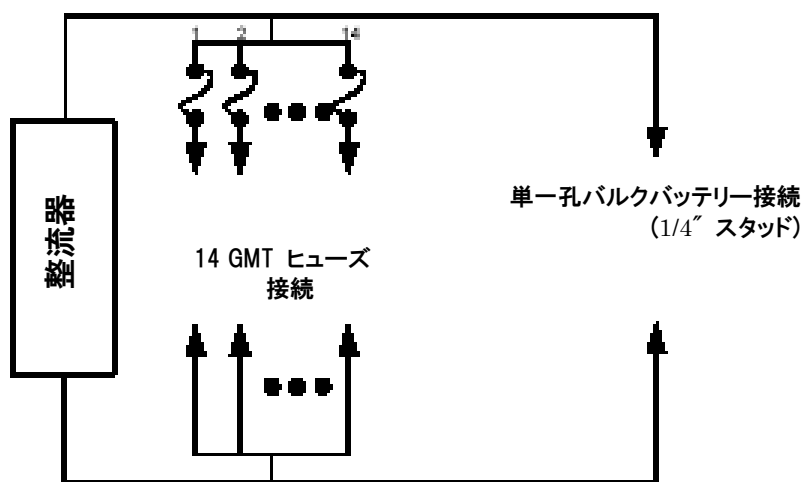


図 3 DC 配線図

各シャーシには、14 GMT 型ヒューズ接続とシャーシの背面にあるヒューズなしのバルク DC 接続が実装されています。ヒューズ付き GMT 接続は、圧縮ネジ付き「ラグなし」の端子ブロックに設けられています。バルク DC 接続は、バッテリー入力またはヒューズなしのバルク出力としても使用できます。接続には、ターミナル・ラグ (0.63 以下の最大凸縁の 1/4 インチ単孔ラグ) が必要です。表 5: 保護されていない出力用 90°C ケーブル布線の推奨 DC AWG 最小値に従い、合計整流器容量に基づいてワイヤーの寸法を決め、導線の寸法を選択してください。



## DPoE パワーパッチパネル・コンパクト 8 ミッドスパンへの接続

各DPoE™ DPoEシステムは、パネルの電源接続に使用するキー付きの電源コネクタハーネス1台とスプライス（型番BSV14X）2個と一緒に出荷されています。

DPoE™ パッチパネルに同梱のスプライスは、AWG14-16単線または撚り線ケーブルをサポートします。

**注意** 各パネルの14 GMTヒューズ付き出力の1つを使用して、DPoE™電源システムの背面に各DPoE™ パワーパッチパネルあるいはコンパクト8ミッドスパンを接続します。  
1つのDPoE™電源システムの出力に、複数のパネルを接続しないでください。

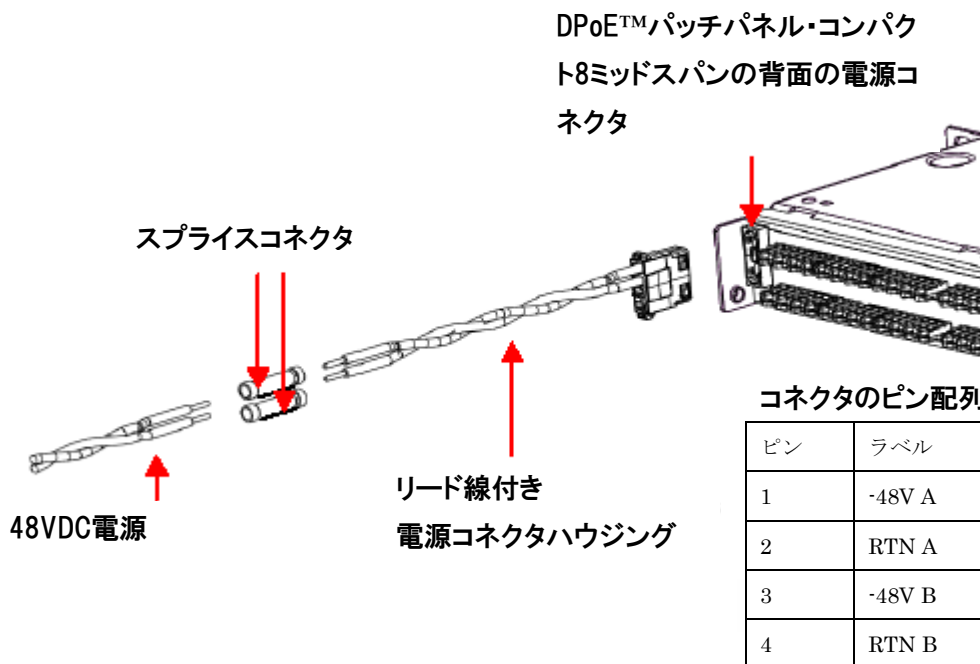


図 4 DPoE™ パッチパネル・コンパクト 8 ミッドスパンへの接続

**注意** 同梱されている電源ハーネスには、A給電の専用のワイヤーが2本付属しています（ピン1および2）。DPoE™ パッチパネル・コンパクト8ミッドスパンには、余剰B給電オプションをサポートしていますが、その端子およびリード線は、電源ハーネスに取り付けられていません。余剰B電力供給の接続についての詳しい情報が必要な場合は、技術サポートにお問い合わせください。（余剰電源オプションには型番DPOEPWRDUALをご使用ください）

**警告** DPoE™ パッチパネル・コンパクト8ミッドスパンの電源接続は、分極化されています。配線が適切でない場合には機能しません。

表 5 保護されていない出力用 90° C ケーブル布線の推奨最少 DC AWG

全整流器電流定格 (A)	90°Cワイヤーを使用するワイヤーおよびラグ計測器(AWG) (NEC 表 310.16)※1
10	16
20	14
25	12

※1: 表310.16は表3Bを使用しています。BS EN 60950:2000の導線の寸法、「情報技術装置の安全」、2000年12月-非建築系配線より

## トルク設定

次の表は、すべての機械的および電気的接続で推奨される、ネジまたはナットの寸法ごとのトルク設定をインチ・ポンド単位 (in-lbs) で示しています。

表 6 推奨締めつけトルク設定

ネジまたはナットの寸法	締めつけトルク(インチ・ポンド単位)
4-40	6
6-32	12
8-32	22
10-32	37
12-24	50
¼-20	65

## 必要な工具

DPoE™電源システムは、市販されている工具で設置できるように設計されています。

- ・#1および#2マイナスドライバおよびプラスドライバ
- ・トルクレンチ
- ・7/16” ソケット、¼” ドライブ
- ・ワイヤー/ケーブルストリッパー (バンドウイト型番CT-100)
- ・ワイヤー/ケーブル用クリンパー (バンドウイト型番CT-1550、CT-1551、CT-1570、CT-1700、Contour CRIMP™ Controlled Cycle Crimp Tools<圧着工具>) (オプションのバルクDC接続に使用)

## 現場と装置の準備

DPoE™電源システムの梱包を解く前に、外部からの衝撃によって内部が損傷している可能性がないか注意してください。箱および梱包材からDPoE™電源システムを取り出したら、輸送時の損傷およびその他の損傷がないかを確認してください。どのような些細な問題でも技術サポートまでご連絡ください。

表 7 パンドウイトの問い合わせ先

パンドウイト技術サポート	Eメール:jpn-info-e@panduit.com
現地語でのインストールガイドおよび技術サポート	<a href="http://www.panduit.com/resources/install_maintain.asp">www.panduit.com/resources/install_maintain.asp</a>
世界中の関連子会社および営業所	<a href="http://www.panduit.com">www.panduit.com</a>

工具、ワイヤー、ケーブル、機械設備等はすべて手が届く範囲に準備してください。可能な限り、清潔な作業環境(破片、ほこり、異物等がない)を確保します。取付け過程では、ワイヤーの切れ端が装置に入り込まないように注意してください。

<b>注意</b>	可能であれば、シャーシの配線が完了するまで、整流器は配送用ボックスに入れたままにしておいてください。全てのDPoE™製品が適切に接続されるまで、整流器は取り付けないでください。
-----------	--

## 電源装置の取付けおよび配線

**警告** すべてのACおよびDC電源は切断され、接続されていないことを必ず確認してください。

### 機器の取付け

DPoE™電源システムのシャーシは、標準的なEIA 19インチのラックに設置します。1人がシャーシを持上げてラックに置き、もう1人が付属の取付けネジを締めることをお勧めします。

[表 6 推奨締めつけトルク設定](#)に従って、設定どおりにトルクレンチでネジを締めます。

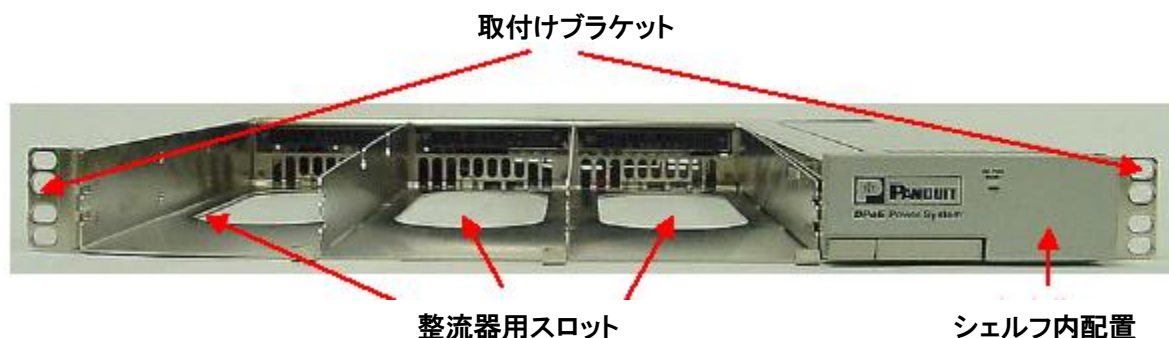


図 5 シャーシ(正面図)

### 棚板への搭載(オプション)

DPoE™電源システムのシャーシをネジで前面に固定後、2ポストラックに搭載した場合等は、シャーシ自体の重量の負荷を軽減するため、シャーシの下にラック搭載用棚板をオプションで取り付けることができます。PANDUIT 製品の1ユニット用棚板(型番:SRM19FM1)は最大積載量が13.6kgあり、シャーシをサポートできます。また、2ユニット用棚板(型番:SRM19FM2 下図参照)は最大積載量が22.7kgあるので、さらなる安全性を確保できます。



図 6 ラック搭載用棚板(オプション)

**注意** オプションのラック用棚板は、シャーシを平らに設置できるようにラックの背面に上下逆さに設置してください。

## AC 入力

図 7 コードブラケットにあるように、電源コード(型番:CORD-J15)の周囲にコードブラケットを取り付けます。コードをシャーシの背面の適切なコンセントに差し込み(図 8 シャーシ(背面図)- AC 接続を参照)、次に、同梱のネジを使用してコードブラケットをシャーシに固定します(図 9 コードブラケットをシャーシに固定を参照)。

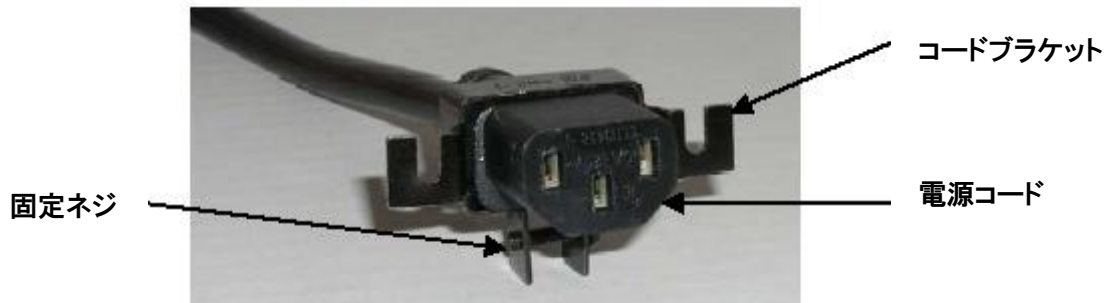


図 7 コードブラケット



図 8 シャーシ(背面図)- AC 接続

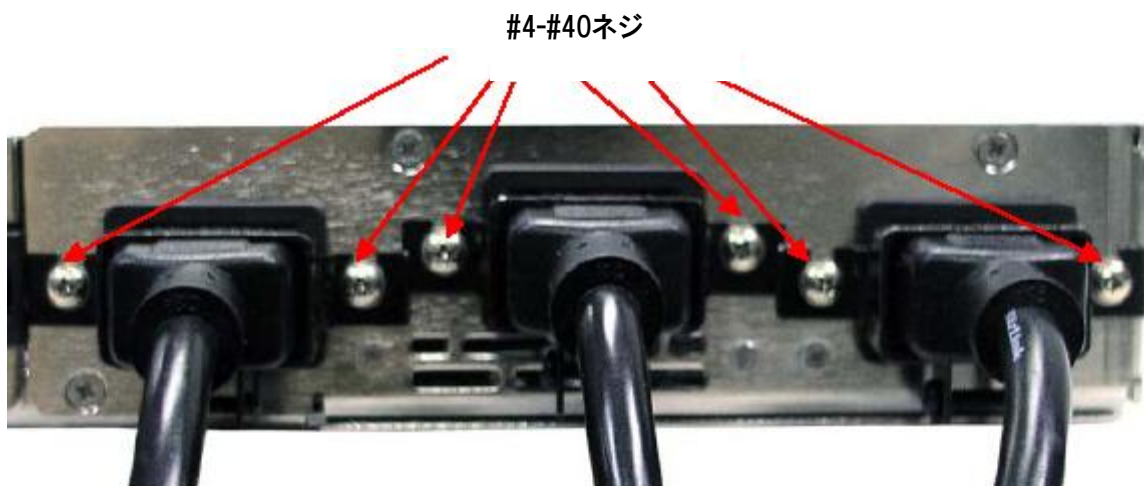


図 9 コードブラケットをシャーシに固定

## DC 出力

DC接続は、[図 12 シャーシ\(背面図\) DC接続](#)にあるように、背面の端子ブロックとバルク出力接続を經由して接続されています。GMTヒューズ接続は、12 AWG以下のワイヤーをつなぐ背面の圧縮ネジ端子ブロックを經由して接続されています。ワイヤーを出力と対応する戻り位置に取り付け、ネジを4 in-lbsのトルクで取り付けます。ヒューズは、[図 10 シャーシ\(正面図\)GMTヒューズホルダー](#)にあるように、対応するヒューズホルダーに差し込みます。

DPoE™電源システムのシャーシでは、[図 12 シャーシ\(背面図\) DC接続](#)にあるように、バルクDC接続が可能です。バルクDC接続は、停電時に、接続されたDPoE™パッチパネルやパネルに接続されているPDIに電力を供給できます。この接続は、バッテリー入力またはヒューズなしのバルク出力として使用されます。バルクDC接続には、適切に圧着した端子ラグ(0.63インチ以下の最大締めつけトルク幅の1/4インチ単孔ラグ)が必要です。端子ラグ(型番:LCA4-14-L:#3または#4 AWGの単線ケーブルまたは#2 AWG撚り線ケーブルと一緒に使用)および圧縮工具(型番CT-1550, CT-1551,CT-1570またはCT-1700など)は弊社から入手できます。バルク出力端子の特徴として端子との不慮の接触を避ける切り離し式のプラスチック片があります。バルクDC出力機能を使用する場合には、端子ラグを固定する前に、各プラスチックタブを切り離してください。

[表 5 保護されていない出力用90° Cケーブル布線の推奨最少DC AWG](#)に従い、合計整流器容量に基づいてワイヤーの寸法を決め、導線の寸法を選択してください。バッテリーまたはバルクDC接続については、対応するプラスおよびマイナスボルトにラグを配置し、その接続を同梱のナットで固定します。



図 10 シャーシ(正面図)GMT ヒューズホルダー



図 11 GMT 7.5A DC 電源ヒューズ

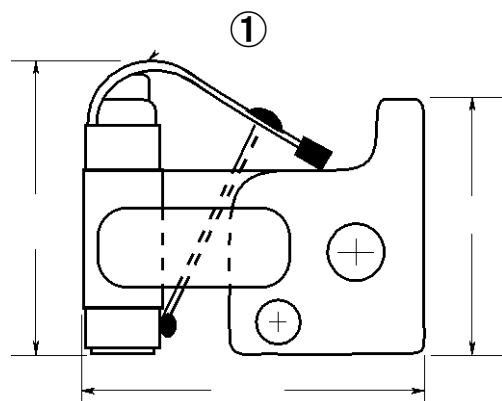


図 12 シャーシ(背面図) DC接続



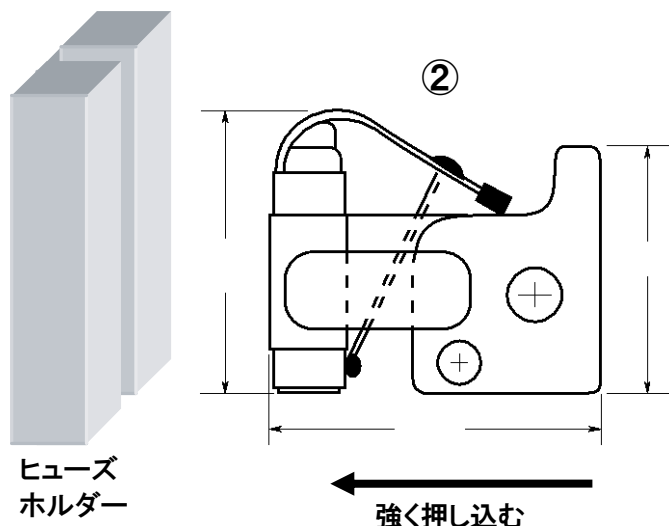
### 整流器搭載用シャーシへのヒューズ取付

整流器搭載用シャーシ(DPOEPWRCU)のヒューズホルダーに GMT ヒューズを取り付ける場合、下記①のように、コンタクトおよびアラームスプリングが上部にくるようにヒューズを垂直にして取り付けてください。



下記②のように、ヒューズホルダーにヒューズをスライドさせて取り付けます。

注:ヒューズを取り付ける際は、強く押し込んでください。



搭載 DPOE デバイス		DPOE デバイスに必要な整流器容量		DPOE デバイス 1 台当たりのヒューズサイズ
数量	デバイス	数量	デバイス	ヒューズ
1	DPOE8S2XG(8 ポート PoE+)	1	DPOEPWRR500(500W)	5.0A
1	DPOE24U1XG(24 ポート)	1	DPOEPWRR500(500W)	5.0A
1	DPOE24U1XG(24 ポート)	1	DPOEPWRR1250(1250W)	7.5A
2 台以上の DPOE デバイス搭載		1 台以上	DPOEPWRR1250(1250W)	7.5A

※DPOEPWRR500(500W 整流器モジュール)の最大ヒューズは 5.0A です。

型番	ヒューズサイズ	カタログ記号	色コード
DPOEPWRF5	5.0A	GMT-5A	緑
DPOEPWRF7.5	7.5A	GMT-7.5A	黒/白

## 最終テストおよび作動

AC接続およびDC接続を固定し、点検が終了したら、以下の例に従って各整流器を順次シャーシに滑り込ませて取り付けます。

### 整流器

DPoE™電源システムで使用する整流器には、整流器に問題が発生したことを示すために、パネル前面に発光ダイオード(LEDs)が実装されています。整流器は、モジュール式として現場で交換できるように設計されています。

### 起動

AC電源コードを適切な電源供給ユニット(PSU)あるいは無停電電源装置(UPS)に取り付けます。

整流器を取外す場合、整流器の正面のラッチボタンを押して、ラッチハンドルを出してください。整流器がシャーシの後部接続から離れるまでラッチハンドルを引っ張り、次に、ゆっくりと後部コネクタからスライドさせて抜き取ってください。交換する整流器のラッチハンドルを開いた状態で、整流器が背面に接続するまで、スライドしてはめ込みます。ラッチボタンを押し下げながら、ラッチハンドルを使用して、整流器を背面のコネクタにゆっくりと差し込みます。正しい位置に整流器を取り付けた後、ラッチボタンを放してラッチハンドルを押し込み定位位置に戻します。

<b>警告</b>	整流器の取り付けまたは取外しを行う場合には、ラッチハンドルを引出してください。ラッチハンドルを閉じた状態で整流器を取り付けようとすると、整流器やDPoE™電源システムのシャーシの機器が損傷する原因となります。
-----------	--

整流器は、自動的に起動および設定されます。整流器は、高速ファン回転モードで起動され、10秒以内に周囲や設備の状態に応じてスピードが減速します。



図 13 整流器の設置または取り外し

### 短絡および電流制限

電流制限は、整流器の定格電流の+105%まで調整できます。システム電圧は、システム電圧が0 VDCへと急激に低下する制限値までは安定します。整流器の出力が5秒以上の間12VDC以下に低下すると、システムはシャットダウンされます。60秒後、システムは自動的に再起動し、ショートが解消されるまでその状態が継続されます。

## トラブルシューティング

DPoE™電源システムのモジュラ特性により、診断および修理は簡単に行えます。すべての整流器を適切に設置し、個々のスロットにはめ込むようにしてください。すべての電源および信号接続は、必ず適切に接続してください。

表 8 トラブルシューティング

アラーム	問題	可能な解決法
DC OK LED が消灯	整流器で電源出力が停止	整流器の故障 本体の交換
AC OKおよびすべてのLEDが消灯	一般用電源が、指定した整流器に反応しない	システムに給電している専用AC回路の市販の遮断機をリセットする 電力が回復するまでは、代替電源で対応
ヒューズ解放	ヒューズの1つが開放状態	開放しているヒューズを交換